大阪市立自然史博物館の学芸ゼミについて

大阪市立自然史博物館では、概ね月に一回の頻度で学芸ゼミを開催しています。当館の学芸員や外来研究員がそれぞれの研究について自由に話題提供し、議論する場です。時々、館外からゲストを招き話題提供していただくこともあります。基本的には 2 名が発表、ゲストの場合は 1 名のこともあります。学芸ゼミは開かれた場です。大阪市立自然史博物館のメーリングリスト omnh に案内が流れるほか、内容に関連した分野のメーリングリストに案内が流れることもあります。

参考として 2014 年以降の学芸ゼミの話題一覧を紹介します。当館の学芸員については、それぞれが所属する研究室名を記しています。「外来研究員」は当館の外来研究員です。

2014 年 2 月 25 日（火）

・林　昭次（地史研究室）骨組織学的アプローチから考察する束柱類の水生適応と進化

・松本吏樹郎（昆虫研究室）いわゆるホシウスバカゲロウとリュウキュウホシウスバカゲロウに含まれる隠蔽種について

2014 年 3 月 25 日（火）

野一色麻人（滋賀県立大学大学院・環境科学研究科）南西諸島における水生植物の分布と現状

2014 年 4 月 22 日（火）

和田　岳（動物研究室）大阪の市街地で繁殖する鳥類相の変遷

横川昌史（植物研究室）伝統的な植物利用も絶滅の危機？：熊本県阿蘇地方における過去 30 年間での盆花利用の変化

2014 年 5 月 27 日（火）

石井陽子（第四紀研究室）博物館所蔵ボーリングコアを用いた地学分野の学校向け貸し出し教材の開発・運用と防災教育への展開

石田　惣・波戸岡清峰（動物研究室）イギリス海洋調査船チャレンジャー号が 1875 年に大阪湾と瀬戸内海で採集した標本

2014 年 6 月 20 日（火）

Christine Böhmer（理化学研究所・ミュンヘン大学）Correlation between vertebral HOX code and vertebral morphology: Implications for vertebral evolution in sauropodomorph dinosaurs

2014 年 7 月 30 日（水）

河上康子（外来研究員）ダンダラテントウの鞘翅斑紋多型における地理的変異と大阪個体群の季節変異

谷本正浩（外来研究員）三重県伊賀市の鮮新統伊賀層から産出したワニ化石についての新知見

2014 年 9 月 3 日（水）

川端清司（地史研究室）改訂版　プラスチック水槽を使った褶曲モデル実験

金沢　至（昆虫研究室）・松田真平（外来研究員）大阪のバタフライガーデン

2014 年 9 月 30 日（火）

森下奈津子（外来研究員）チャワンタケ目の偽菌核形成に関する生態学的研究

佐久間大輔（植物研究室）本郷標本から見えてくるもの、活用の成果と可能性

2014 年 10 月 28 日（火）

趙　哲済（大阪文化財研究所）大阪上町台地とその周辺低地の古地理変遷―主として難波砂州の成り立ちについて―

2014 年 11 月 26 日（水）

釋　知恵子（大阪市立自然史博物館）文化庁ミュージアムエデュケーター研修（前半）報告

初宿成彦（昆虫研究室）日本産トウヒ属 Picea 樹上に形成されるカサアブラムシ（昆虫綱半翅目）の虫えい形態と植生史研究への展開

2015 年 1 月 7 日（水）

辻本裕也（パリノ・サーヴェイ）考古遺跡における景観要素としての植生復元の現状と課題

2015 年 2 月 19 日

佐藤隆春（外来研究員）大阪層群ピンク火山灰を降らせた火山活動

中条武司（第四紀研究室）潮汐作用に特徴的なレンズ状層理の形成過程：実験・現世・地層の比較

2015 年 4 月 1 日（水）

川上和歌子（認定 NPO 法人大阪自然史センター）大阪自然史センターが目指す人的基盤強化事業

佐久間大輔（植物研究室）博物館友の会など、博物館コミュニュティの現状は？博物館総

合調査から探る

2015 年 5 月 12 日（火）

塚腰　実（地史研究室）カエデ属に似た果実化石ー特徴と分類の検討ー

長谷川匡弘（植物研究室）住吉大社御田・都市水田の植物

2015 年 5 月 26 日（火）

幸田良介（大阪府立環境農林水産総合研究所）森林植生の群集動態を決定する要因としての大型草食獣シカの機能

2015 年 6 月 30 日（火）

波戸岡清峰（動物研究室）イギリス海洋調査船チャレンジャー号が 1875 年に瀬戸内海で採集した魚類

林　昭次（地史研究室）骨組織から考察する島嶼産化石リュウキュウジカの生活史

2015 年 7 月 28 日（火）

谷田一三（大阪市立自然史博物館・館長）川虫、水虫との付き合い 40 年―調査・研究・学会、そして少々の論文と図書

2015 年 8 月 25 日（火）

山本好和（外来研究員）地衣類の基礎と応用－地衣類の魅力－

2015 年 9 月 29 日（火）

松本吏樹郎（昆虫研究室）最近明らかとなった日本産ウスバカゲロウの幼生期

横川昌史（植物研究室）都市部に残された小っちゃい草原から見えること

2015 年 10 月 27 日（火）

和田　岳（動物研究室）日本の自然史系博物館等における鳥類標本及び死体の蓄積とその標本化アンケート調査の経過と簡単なまとめ

有山啓之（外来研究員）ヨコエビとはどんな動物か？－形態・色彩・生態について－

2015 年 11 月 25 日（水）

山田英明（大阪市立大学大学院・理学研究科・生物地球系専攻）和歌山平野の花粉分析による第四紀後期の古植生・古気候変遷

石井陽子（第四紀研究室）大阪平野ボーリングデータに見る沖積層最下部砂礫層　－Ma13 と Ma12 の間の砂礫層問題－

2015 年 12 月 22 日（火）

金沢 至（昆虫研究室）科学と研究発表倫理

石田 惣（動物研究室）・中田兼介（京都女子大）・西 浩孝（豊橋市自然史博）・藪田慎司（帝京科学大）生物の動画を博物館の標本として収蔵登録する試みと想定される課題

2016 年 2 月 23 日（火）

川上誠太（外来研究員）宝塚昆虫館旧蔵の貝類標本（当館蔵）について

河村　愛（大阪市立大学）化石記録にもとづく琉球列島南部の第四紀後期哺乳動物相

2016 年 3 月 29 日（火）

佐久間大輔（大阪市立自然史博物館・植物研究室）「博物館総合調査」から見えてきたこと

釋　知恵子（大阪市立自然史博物館）国語で使える貸出キット「タンポポ」と「虫の体」の開発～理科以外の教科での自然史博物館活用を目指して～

2016 年 4 月 26 日（火）

初宿成彦（昆虫研究室）虫食い植物標本庫を作ろう

中条武司（第四紀研究室）越波による砂嘴の破壊と復元：伊勢湾南西部櫛田川河口の例

2016 年 5 月 10 日（火）

奥井かおり・澤田佳宏（兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科）淡路島における木の実利用の記録と継承

上村晋平・澤田佳宏（兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科は卒業生）都市域の住宅団地における草原植生の立地と組成

2016 年 6 月 23 日（火）

塚腰　実（地史研究室）愛媛県に分布する新第三系久万層群から発見されたアスナロビシ属

川端清司（地史研究室）日本地質学会が選定する「県の石」

2016 年 7 月 26 日（火）

林　昭次（地史研究室）成長様式から考察する鎧竜恐竜の生態と進化　林　昭次

波戸岡清峰（動物研究室）大阪湾で採集されたシマイトアナゴのレプトセファルス

2016 年 8 月 25 日（火）

長谷川匡弘（植物研究室）屋久島高地に分布するヤクシマママコナの特異な送粉様式

2016 年 9 月 27 日（火）
鳴橋直弘（外来研究員）ロンドンの２つの植物園と１つのフラワーショー

2016 年 10 月 25 日（火）
松本吏樹郎（昆虫研究室）大阪府下で分布を拡大するクビアカツヤカミキリ
横川昌史（植物研究室）半自然草原の管理放棄に伴う植物種ごとの衰退パターンの違い

2016 年 11 月 29 日（火）
和田　岳（動物研究室）大阪府におけるソウシチョウの繁殖分布の変遷
石井陽子（第四紀研究室）大阪平野の地層とそこに記録された気候変動

2016 年 12 月の学芸ゼミは諸事情によりお休み